

## 「海の出前授業」派遣レポート

- ・都道府県 東京都
- ・派遣先（学校名） 田園調布学園 中等部・高等部
- ・授業タイトル 立方体地球と海のお話
- ・講師名 岡英太郎（東京大学大気海洋研究所）
- ・派遣年月日 2019年2月9日

### 派遣者コメント

田園調布学園「土曜プログラム」の一環として、中1～高1の生徒21名を対象に150分（途中休憩含む）の授業を行った。まず、日本科学協会制作の動画「もしも地球が立方体だったら」前編・後編（計約30分）を鑑賞したのち、重力、大気・海洋、気圧・水圧などについて、立方体地球と現実の地球を比較しながら解説した。また、解説の合間に簡単なグループディスカッションを行った。後半は、「ゆっくりと変化する海を測る」と題し、「なぜ海の流れを図る必要があるのか」「地球の自転に支配される海の流れ」「21世紀のロボット海洋観測」という流れで講義を行った。最初は大人しかった生徒たちも、「この授業はおしゃべりOKなので、是非隣りの人としゃべりながら議論に参加してください」と言ったのがよかったのか、次第に反応がよくなり、こちらも楽しませてもらった。特に、最近関連分野を勉強したばかりという中3の生徒たちが活発に議論に参加してくれた。やや難解な立方体地球の物理場を中1の子にも理解してもらえるよう、丁寧に説明したため、後半の海の部分が駆け足になってしまったのは残念であり、反省点である。